

遠野市監査委員告示第3号

平成27年2月9日

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 佐藤 サヨ子

遠野市監査委員 佐々木 資光

遠野市監査委員 瀧本 孝一

平成26年度定期監査結果報告書（後期）

1 監査の目的

定期監査は、平成26年度における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業が地方自治法第2条第14項及び第15項の趣旨に則り、合理的かつ効率的に行われているかどうかについて監査することを目的に、同法第199条第4項の規定に基づいて実施したものである。

2 監査の期日及び対象課等

- (1) 実施期間 平成27年1月9日から2月2日までに延べ9日
- (2) 監査対象及び説明聴取の実施期日 次表のとおり20課等及び小中学校については、14校中8校を対象に実施した。

月 日	対 象 課 等
1月9日	綾織地区センター、遠野小学校、青笹小学校、遠野東中学校
1月14日	宮守地区センター、土淵小学校、上郷小学校、遠野西中学校
1月16日	学校教育課、教育研究所、総合食育推進課、学校給食センター
1月19日	国体開催推進室、附馬牛地区センター、土淵地区センター、上郷地区センター
1月21日	調査研究課、文化課
1月23日	教務課、子育て総合支援課、松崎地区センター、青笹地区センター
1月26日	生涯学習スポーツ課、市民協働課、遠野地区センター
1月28日	小友地区センター、附馬牛小学校、遠野中学校
2月2日	綾織地区センター（2回目）、宮守地区センター（2回目）

3 監査の内容

(1) 所管事務の執行状況

29の事務事業について、財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているか、各種の事業が合理的かつ効率的に行われているかを主眼として監査した。

(2) 共通事項

- ア 各課等で該当する分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入
- イ 現金等の保管状況
- ウ 郵便切手類の保管及び受払
- エ 物品の管理及び出納
- オ 車両の運行管理

4 監査の方法

監査書類の提出又は提示を求め、その内容について照合確認するとともに関係職員から説明を聴取して実施した。

5 監査の結果

各課等で所管する事務事業から抽出した予算執行及び事務事業並びに共通事項を監査した結果は、別記のとおりである。

監 査 結 果

事務処理上の軽易な誤りや不備な事項については、その都度関係職員に対して口頭で改善又は検討するよう述べたので、本書への記述を省略する。

【所管事務の執行状況及び意見等】

1 市民協働課

所管事務は、市民センター及び地区センターの事務及び事業の総合調整に関すること、市民憲章運動に関すること、自治組織その他の地域活動の育成に関すること、交通対策及び交通安全対策の総合的な企画、調整及び推進に関すること、消費者の保護及び消費生活相談窓口に関すること、市民センター施設の管理及び整備並びに利用の許可に関すること、地域活動専門員に関すること等である。

○交通安全指導対策事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

遠野市交通安全対策協議会、岩手県遠野市交通安全協会、遠野市交通指導隊、遠野地区交通安全母の会連合会へ補助金を交付し、交通安全活動を推進する事業である。交通安全意識の啓発活動の推進を図るため、交通指導員による交通安全教室の開催、街頭指導及び広報活動が行われており、一定の成果があると認められるものの交通指導員数は定数35人に対して現員数26人と充足率74.3%である。この現状を改善して交通指導員の負担を軽減し、より効果的、効率的に交通安全活動を推進するためには、非常勤職員として公募した専任交通指導員の配置により関係機関との有機的連携を図ることも必要と思われることから、専任交通指導員（非常勤職員）の配置についての検討を期待する。

○市民センター大規模改修事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

昭和46年に開館した遠野市民センターの老朽化に伴い、市民体育館棟（昭和49年供用開始）の耐震補強等改修工事、工事監理業務委託及び市民会館棟改修工事実施設計業務委託等に係る経費であり、市民体育館棟は今年度末に改修工事完了、平成27年度に市民会館棟改修工事が完了する予定とのこと。公共施設の耐震化、バリアフリー化、長寿命化のための改修は必要不可欠であり、利用する市民の安全と利便性を重視した工事と認められる。

2 生涯学習スポーツ課

所管事務は、生涯学習の推進に関すること、男女共同参画社会の推進に関すること、高齢者団体の育成並びに高齢者の教養及び健康づくり活動に関すること、青少年の指導及び育成に関すること、勤労青少年ホームの管理運営に関すること、少年センターの運営に関すること、芸術文化活動の推進に関すること、市民センターの自主事業に関すること、健康づくりに係る事業の総合調整に関すること、市民の健康づくり総合

プログラムの推進に関すること、生涯スポーツ施設に関すること、競技スポーツの向上に関すること等である。

○芸術文化振興事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

芸術文化の振興を図るため、遠野市芸術文化協会、遠野物語ファンタジー制作委員会、狂言風オペラ遠野公演実行委員会に対し補助金が交付されていた。特にも県内市民劇場の草分けであり今年が40回記念公演となる「遠野物語ファンタジー」は、全国的にも高い評価を受けており、遠野市民センターの「地域創造大賞」受賞の大きな要因でもあったと認められる。遠野ならではの芸術文化振興であり、遠野にいながらにして上質の伝統芸能等に触れる機会を得ることができる事業は、事務も適正に執行されていると認められる。

○都市交流推進事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

武蔵野市との児童交流事業の補助金、随行職員旅費と、姉妹都市締結30周年記念事業サレルノ訪問ツアーに係る訪問団随行旅費、記録DVD等制作業務委託料等に要する経費である。武蔵野市との児童交流事業では児童19人が武蔵野市を訪問し吉祥寺ウォークラリー等で交流を深めており、次代を担う子ども達が相互に見聞を広めるための価値ある事業と認められる。

3 国体開催推進室

所管事務は、第71回国民体育大会の開催準備の総合的な企画及び調整に関すること、国体の競技施設の整備及び管理に関すること、国体の競技運営に関すること、その他国体に関することである。

○岩手国体準備事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成28年10月に遠野市で開催される希望郷いわて国体少年男子サッカー競技の市民協働による円滑な運営、開催地の魅力発信のため、関係機関・団体に組織した実行委員会に負担金を支出し、連絡調整やPRイベントの開催、広報啓発活動、市民運動展開への取り組み等が行われていた。第69回長崎がんばらんば国体の競技視察、国体記念公園市民サッカー場オープンイベントも実施されていたほか、ジュニアサッカーレベルアップ事業にも取り組み、その成果は市内小学生、中学生、高校生の全国的な活躍に現れていると認められる。関係機関・団体と連携した花いっぱい運動の展開等、さらに啓発事業を強化して機運を盛り上げ、市民協働による運営を目指すことを期待する。

○岩手国体サッカー会場整備事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

希望郷いわて国体少年男子サッカー競技会場整備として、国体記念公園市民サッカー場A面の人工芝、遠野運動公園多目的運動広場の天然芝の整備、陸上競技施設改修、管理棟改修設計業務委託を行う事業である。工事期間が冬期間に重なり地盤の安定等を図るために、平成25年度実施予定であった天然芝の張替え工事は翌年度へ繰り越して実施されていた。依頼工事担当課との連携も良く完成結果も「良」の評価を受けていたが、この整備事業を契機としてサッカーのまち遠野の「蹴都^{しゅうと}」としての魅力が更に高まることを期待する。

4 教務課

所管事務は、教育委員会の会議に関すること、教育行政の長期かつ総合的な計画の策定に関すること、児童及び生徒の就学に関すること、就学困難な児童及び生徒の就学援助に関すること、児童及び生徒の交通安全対策に関すること、市立学校の設置、管理及び廃止に関すること、市立中学校の再編成に関すること、児童及び生徒の通学対策に関すること、教材の整備に関すること、奨学生選考委員会及び奨学資金貸与に関すること等である。

○育英事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として貸与人数の枠を増やすなど有能な人材育成に取り組んでいると認められる。今後は保証人、連帯保証人のあり方についての検討等を含めた滞納繰越額減額への取り組みを期待するとともに、高校授業料の「無償化（就学支援金制度）」等によって高校生の貸与希望者がいない実態とのことから、育英事業の新たな展開として現在義務教育のみで行なわれている子育て支援策「就学援助費」を高校生まで拡充することについても検討を期待する。

5 学校教育課

所管事務は、市立学校の組織編成及び管理運営に関すること、市立学校職員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること、市立学校の学級編成に関すること、学校の教育課程及び学習指導その他の学校教育に関する専門的事項の指導に関すること、特色ある学校づくり事業、就学指導・相談に関すること、特別支援教育に関すること、市立学校職員の研修に関すること、学校評価に関すること等である。

○特色ある学校づくり事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

特色ある学校づくり事業実施要綱に基づき市内各小中学校で地域の方等を講師に、

地域の自然、伝統、文化を学ぶ「ふるさと学習」等に取り組まれていた。10年以上継続されている事業であり、ふるさとを大事にする心豊かな児童を育てていると評価でき、事務も適正に執行されていると認められる。

○特別支援教育推進事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

発達障がい等により学校生活や学習活動に個別な支援が必要な児童生徒に特別支援教育支援員を16人配置し、マンツーマンによるきめ細かい学習支援体制が構築されており、事務も適正に執行されていると認められる。

6 教育研究所

所管事務は、教育に関する専門的事項及び技術的事項の調査並びに研究に関すること、教育に関する実態の調査に関すること、児童生徒の教育相談に関すること、教育関係資料の収集及び紹介に関すること、教育関係職員の専門研修に関すること、幼児の言葉指導に関すること等である。

○学力向上対策事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

学校において分かりやすい授業が行われ、児童生徒一人ひとりに基礎・基本が定着し、目指す進路を実現できる知識や技能など、自立した社会人となるために必要な総合力を身につけるといふ学力向上の「目指す姿」を実現させるため、同じ中学校区内の小中学校が連携して研究体制を構築し、授業力向上に取り組むなど「義務教育9年間を見取る体制」が整っていた。成果が出るのは数年後とのことであったが、現在の取り組みの進捗状況についてはおおむね満足との評価であり今後の成果に期待したい。また、不登校、別室登校の児童生徒の学習機会を保障するために教育相談員4人が配置されていたが、「教室復帰」援助についての成果も期待したい。

7 文化課

所管事務は、文化遺産の保護及び振興並びに普及に関すること、文化に係る施策の企画及び連絡調整に関すること、遠野遺産認定条例に規定する遠野遺産に関すること、郷土芸能の育成・振興に関すること、図書館及び博物館に関すること等である。

○重要文化財千葉家住宅管理費・整備事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

保存活用のために平成25年に遠野市が取得した千葉家住宅（江戸末期に主屋建築、平成19年に国重要文化財指定）は、建築、学術の専門家7人で構成される「保存活用委員会」が保存活用基本構想、整備基本計画を策定。それに連動して地元住民を中心に結成した「活用を考える会」が具体的な活用方法を検討する、という手法で平成37年のグランドオープンを目指し、現在整備が進められているとのこと。平成

26年度は防災用道路整備工事も施工されているが、千葉家を遠野の歴史、風土、暮らしを後世に伝える象徴的な施設の一つとして捉え、幅広い分野からそのあり方を検討しながら事業を進めていることは評価できる。

なお、保存活用委員の旅費、報酬等の支払いには資金前渡の方法を検討されたい。

○加守田章二陶房跡管理費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

青笹町糠前9地割地内にある加守田章二陶房跡は、昭和42年に初めて遠野を訪れてその土に魅了され、昭和44年から弟子とともに遠野に移住し創作活動を始めた「20世紀陶芸界の鬼才」加守田章二氏の陶房跡である。その土地・建物が、平成22年に遠野市に寄附されたことを契機に整備し、平成23年に見学施設としてオープンしたとのこと。平成28年の岩手国体少年男子サッカー競技会場に隣接していることから、注目度を高めるために草刈等を含めた環境整備、加守田氏の業績のPRや周知について関係部署と連携しての検討を期待する。

8 調査研究課

所管事務は、遠野の文化に係る総合的な施策の推進に関する事、遠野文化研究センター運営委員会に関する事、遠野の文化に係る市民団体に関する事、遠野文化賞に関する事、その他遠野の文化の調査研究に関する事等である。

○遠野文化調査研究費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成26年3月31日までに「三陸文化復興プロジェクト」として実施した献本活動は、登録冊数 197,632冊、配本冊数 157,348冊（配本率79.6%）であり一定の成果があったと認められる。また、遠野文化賞・奨励賞の審査及び授与、遠野文化フォーラムの開催、遠野「語り部」1000人プロジェクト事業（平成26年12月31日現在652人を認定）、市民講座事業として土曜講座や金曜夜の読書会（「遠野古事記」を読む）、昔話教室の開催、「遠野学会」の開催等が行われ、遠野の地域文化の発掘、振興、保護、継承、発信等に積極的に取り組んでいることは大いに評価できる。

9 子育て総合支援課

所管事務は、少子化対策及び子育て支援の総合的な施策の推進に関する事、市立保育所の管理運営に関する事、児童扶養手当に関する事、ひとり親家庭及び寡婦の福祉向上に関する事、私立幼稚園の運営費助成に関する事、私立幼稚園の振興に関する事、市立幼稚園の管理運営及び入園・退園に関する事、児童福祉施設への措置等に関する事、家庭児童相談及び婦人指導に関する事、療育支援教室の運営に関する事、保育所における保育に関する事、特別保育及び認可外保育施設に関する事、児童館及び母親クラブの運営及び指導に関する事、児童館及び児童遊園の整備及び管理に関する事、市立幼稚園の設置及び廃止に関する事等である。

○看護保育安心サポート事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

自治体単独では県内初となる遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」を平成22年度に整備開設し、運営を遠野市保育協会に業務委託しているが、その運営事業費である。子育てと就労の両立を支援する施設として、子育て世代の市民にとって利用価値の高い施設と評価できる。平成25年度利用児童延べ人数は553人であるが年々増加傾向にあり、事務も適正に執行されていると認められる。

○公共施設ロングライフ事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

宮守、達首部、鱒沢の各幼稚園保育所、児童館・児童施設（8施設）、わらっぺホームの50万円未満の修繕工事に即時対応しており、一定の効果があると認められる。

しかしながら、提出された見積書を精査できる職員が配置されていないことから、見積書の精査を技師に相談できる体制の整備について検討を期待する。

○母子生活支援施設入所業務委託費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

18歳未満の子どもを養育している母子家庭で経済的理由や住居がない等の事情で児童保護が困難な母子に対して母子支援施設への入所を支援し、自立促進と生活支援を行う事業であり、今年度1世帯5人が利用しているとのこと。社会問題化しているDVの増加等の課題に対する重要かつ必要な事業と評価され、事務も適正に執行されていると認められる。

10 総合食育推進課

所管事務は、食育推進計画に関すること、食育の普及事業に関すること、その他食育に関することである。

○ばすぼる事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成23年3月に策定した遠野市食育推進計画の推進拠点である遠野市総合食育センター「ばすぼる」が開所1周年を迎えたことから、関係機関・団体の協力を得て11月1日に「ばすぼる誕生祭」を開催したほか、小学生を対象としたちびっこ栄養教室、親子の食育教室、高校生を対象とした食生活改善講習会等ライフステージに合わせた食育講座が実施されており、事務も適正に執行されていると認められる。今後の食育推進ネットワーク構築においては、担当課として強いリーダーシップを発揮することを期待する。

11 学校給食センター

所管事務は、給食センターの施設及び設備の管理に関する事、給食計画の運営に関する事、給食物資の購入、検収及び保管に関する事、給食の栄養献立・栄養指導及び衛生指導に関する事、給食の配送及び回収に関する事、給食費の収納及び未納対策に関する事、地産地消給食に関する事等である。

○総合食育センター管理費

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

学校給食への異物混入については件数が昨年に比べ大幅に減少しており改善が図られていると認められるが、事故発生「0」を目指し、納入業者との連絡をより密にするとともに市内小中学校、関係部署との連携による安心安全の学校給食の提供を継続されたい。

○ふるさと食材給食事業費

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

市内で生産される新鮮で安全安心な食材を多く取り入れた「遠野まるごと給食」が、遠野の郷土食の継承や食文化への理解を深めるために小学校2校、中学校1校でそれぞれ1回ずつ実施されており、事務も適正に執行されていると認められる。

12 地区センター(地区公民館)

所管事務は、市民憲章の普及推進に関する事、市政懇談会に関する事、自治組織その他の地域活動の育成に関する事、婦人学級・高齢者学級・家庭教育学級その他の学級講座の開催に関する事、体育・スポーツ・レクリエーション活動に関する事、社会教育団体、地域団体の連絡協調に関する事等である。

○みんなで楽しくふるさと遠野推進事業

[指摘事項]

遠野遺産の保護、活用を目的とした実施事業も多数あることから、遠野遺産に精通した委員も審査委員に加えることが必要と思われる。審査委員による審査は書類審査のみの現状であるが、実施結果の確認も必要と思われる。特にも工事を伴う事業の完了確認は現地調査が必要と思われることから検討されたい。また、1件の金額が10万円以上の委託料、工事請負費、備品購入費等については2者以上から見積りを取ることを義務付けられたい。さらに事業期間終了後も事業実績報告書等の提出等補助事業完了事務に係る遅延が見受けられることから、迅速・適正な事務執行を徹底されたい。

[意見・要望]

遠野市補助金交付規則に基づく市民協働事業であることから、市民の作業の様子が分かる写真記録、郷土芸能団体の出演謝礼にかかる基準の策定、経費削減への努力、事業実施団体への指導強化等が課題と思われる。今後の事業実施に向け市民セ

ンターとそのサテライトである地区センターが一体となった検討を期待する。

○町民運動会の開催状況

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

宮守町は隔年開催であるが、それ以外の町では6月の第1日曜日（6月1日）に保育園児、小中学生から高齢者まで5千人を超える市民が参加しており（参加率21%）「世代間交流」「地域コミュニティーの形成」が図られていると認められる。

しかしながら、少子高齢化が進んでいることもあり、地域の特性を活かしより多くの住民が参加できるようにするためには、各町それぞれのプログラムを持ち寄って情報交換し、アトラクションや競技種目の見直しをする等の検討も必要と思われる。

なお、「みんなで築くふるさと遠野推進事業」及び「町民運動会の開催状況」についての各地区センターに対する意見等については、次のとおりである。

地区センター	監 査 意 見 等
遠 野	<p>○みんなで築くふるさと遠野推進事業</p> <p>〔指摘事項〕 特になし</p> <p>〔意見・要望〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内最大の世帯数、人口を抱える地域ではあるが、各種団体と連携を図りながら事業を展開していると認められる。 ・イベント的要素が強い事業に関しては、イベントの組み合わせやPR方法の見直しによってより集客を図る工夫が必要である。 <p>○町民運動会</p> <p>〔指摘事項〕 特になし</p> <p>〔意見・要望等〕</p> <p>6月1日開催、参加者1,200人（参加率15%） 人数が少ない行政区でも優勝のチャンスがあるようにプログラム、得点方法を工夫していることは評価できる。</p>
綾 織	<p>○みんなで築くふるさと遠野推進事業</p> <p>〔指摘事項〕</p> <p>事業終了後の補助事業完了事務に遅れがある事例が見受けられることから、当該事業団体に対し遠野市財務規則等に基づく迅速、適正、正確な事務処理を指導されたい。</p> <p>○町民運動会</p> <p>〔指摘事項〕 特になし</p> <p>〔意見・要望等〕</p> <p>6月1日開催、参加者440人（参加率25%）</p>

	<p>高齢社会がますます進む中で「健康で楽しい地域の暮らし」のあり方を探るために、地域活動専門員と連携し、実施結果についての詳細な分析を期待する。</p>
小 友	<p>○みんなで築くふるさと遠野推進事業 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進事業を活用し地域の活性化を図っていると認められる。 ・同日開催のまつり等の事業の郷土芸能団体に対する出演謝礼が重複して支払われているケースが見受けられることから、今後検討が必要である。 <p>○町民運動会 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望等〕</p> <p>6月1日開催、参加者280人（参加率20%） 以前は午前中が中学校の運動会、午後に町民運動会を開催していた。中学校再編成後は町民運動会単独で開催しているが、小中学生の参加は継続されているとのことである。</p>
附馬牛	<p>○みんなで築くふるさと遠野推進事業 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅原神社参道（階段・鳥居）改修事業は、可能な限り地域住民による協働作業を徹底するという地元の熱意が感じられ、この事業の実施によって遠野遺産がその価値を更に増したと評価できる。 ・被災地児童とのスポーツ交流事業は、独自の「縁」がつなぐ後方支援プロジェクトとして認められる。 ・附馬牛町第2区幹線水路改修事業は、金額は少ないものの大雨時に水路からの溢水を防ぐため、コンクリートU字溝を敷設する事業であるが、事業に対する地元の熱意が感じられた。 <p>○町民運動会 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望等〕</p> <p>6月1日開催、参加者286人（参加率21%） 地区住民の交流、連携のためのイベントの一つとして定着していると認められる。</p>
松 崎	<p>○みんなで築くふるさと遠野推進事業 〔指摘事項〕 特になし</p>

	<p>[意見・要望]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承、郷土愛を育む活動、地域の連帯を深める活動等に自主的、効果的に事業導入が図られ、自然な形で世代交代が促進されているほか、支出内容も適正であり他の手本となるものと評価できる。 ・共通事項も含め、わかりやすく正確な事務執行と認められる。 <p>○町民運動会</p> <p>[指摘事項]</p> <p>特になし</p> <p>[意見・要望等]</p> <p>6月1日開催、参加者750人（参加率17%）</p> <p>開催趣旨の徹底、人数が少ない区にも配慮した得点方法、誰でも参加できる競技内容等工夫が見られた。</p>
土 淵	<p>○みんなで築くふるさと遠野推進事業</p> <p>[指摘事項]</p> <p>特になし</p> <p>[意見・要望]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米通集会所基礎災害復旧工事は、推進事業本来の姿とも言うべき地域住民総出での事業推進と認められる。 ・工事関係の事業については、推進事業の趣旨が理解され地元住民の労力等で事業効果が現れていると認められる。 ・まつり事業については、継続開催しているコミュニティー推進、世代間交流事業であるが、希望郷いわて国体開催も視野に入れた今後の計画についても期待したい。 <p>○町民運動会</p> <p>[指摘事項]</p> <p>特になし</p> <p>[意見・要望等]</p> <p>6月1日開催、参加者741人（参加率33%）</p> <p>各戸に毎日流れている「午後3時のラジオ体操」など、土淵町には町民運動会を単独イベントではなく、町民の健康づくり活動を促進する総合イベントの一環として位置づけられる素地が多くあると感じられ、新しい展開を期待したい。</p>
青 笹	<p>○みんなで築くふるさと遠野推進事業</p> <p>[指摘事項]</p> <p>特になし</p> <p>[意見・要望]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な健脚通学路整備事業、ふるさと体験塾事業等は子どもから高齢者まで地域一体となった特徴的事业と認められる。 ・花いっぱい事業では作業参加者へのお茶の配付をやめるなど経費の削減にも取り組まれている。 ・共通事項、団体の事務も含め、会計事務の遅れが目立つ事例が

	<p>あることから適正、迅速な事務執行に取り組みたい。</p> <p>○町民運動会 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望等〕 6月1日開催、参加者600人（参加率24%） 中学校再編成によりアトラクション「青笹しし踊り」の演舞を中学生から小学生に変更して行っているとのこと。伝承の新しい展開に期待したい。</p>
上 郷	<p>○みんなで築くふるさと遠野推進事業 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 ・社会教育の充実施策としてJOC A等外部組織・人材と連携した世界を知る講座や英会話クラス等多彩なプログラムの展開は、他に見られない独自の事業であり評価できる。</p> <p>○町民運動会 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望等〕 6月1日開催、参加者800人（参加率29%） 上郷町ふれあいイベントとして午前9時から町民運動会、11時40分から郷土芸能発表会（特別出演：大槌町の上京鹿子踊保存会）を開催していた。 担い手が減少している上郷町郷土芸能伝承活動の発表を多くの町民が集まる町民運動会と同日に開催することで広く町民にアピールされており、他に見られない事業となっている。</p>
宮 守	<p>○みんなで築くふるさと遠野推進事業 〔指摘事項〕 ・事業終了後の補助事業完了事務に遅れがある事例が見受けられることから、当該事業団体に対し遠野市財務規則等に基づく迅速、適正、正確な事務処理を指導されたい。 ・団体の会計事務について、遅れや領収書のみ支出が見受けられることから公金同様に迅速、適正かつ正確な事務執行に取り組みたい。</p> <p>○町民運動会 隔年開催のため、平成26年度は開催なし。</p>

【共通事項】

各課等で該当する分担金及び負担金、使用料・手数料、諸収入、現金等の保管状況、郵便切手の保管及び受払、物品の管理及び出納、車両の運行管理については、特に問題点は見受けられなかった。

○現金の保管状況（通帳等）

通帳の保管状況は、平成26年11月30日現在、次表のとおりである。地区センターで保管している通帳等に係る各団体の会計事務の状況についても監査したが、一部地区センターにおいて事務遅延、会計帳票の未整理等が見受けられたことから、公金管理と同様に迅速かつ適正な事務処理をするように指導した。

なお、遠野市に属するもの及び団体等の通帳を含め預金通帳を多く保管している課等は、小友地区センター及び松崎地区センターで各11冊、預金通帳残高が多い課等は、市民協働課で 2,782,328円、今回監査対象20課等(学校は除く)で計93冊、合計金額が17,198,652円となっているが、定期的にチェックするなど、不正防止に向け今後もより一層厳正に取り扱われたい。

No.	課 等 名	通帳冊数	預金残高(円)
1	市民協働課	8	2,782,328
2	生涯学習スポーツ課	7	2,726,806
3	国体開催推進室	1	2,260,751
4	教務課	1	20,000
5	学校教育課	1	0
6	文化課	1	0
7	調査研究課	1	0
8	子育て総合支援課	1	0
9	学校給食センター	1	0
10	遠野地区センター	7	1,703,437
11	綾織地区センター	7	1,647,740
12	小友地区センター	11	1,345,735
13	附馬牛地区センター	8	1,275,134
14	松崎地区センター	11	2,408,380
15	土淵地区センター	8	661,037

16	青笹地区センター	6	2,196,041
17	上郷地区センター	3	579,801
18	宮守地区センター	10	373,790
合 計		93	17,198,652

○物品の管理及び出納

物品の管理及び出納については、備品管理一覧表に基づき職員からの聴取及び備品の確認により監査を実施した。

特に問題点は見受けられなかったが、昨年度監査指摘した学校が行う少額教材備品購入事務においては、様式の統一やチェック体制の強化が図られるなど改善が図られていた。しかしながら、一部学校において教材購入事務が年末に行われていたことから、児童生徒のよりよい学習環境整備のために予算配当後の速やかな事務執行を期待する。

○その他(小中学校について)

・安全指導(避難訓練・防犯対策)について

東日本大震災を教訓に、地震や火災を想定した避難訓練、不審者を想定した訓練など、児童・生徒の安全面に配慮した危機管理がなされていると認められる。

また、学校の危機対応マニュアルを各家庭にも周知しているほか、携帯電話やスマートフォン等のメールを活用した緊急連絡網の整備を図っている学校も複数あったことから、市内各小中学校での情報共有を期待したい。

・安全点検について

毎月初めに定期的に安全点検や確認がなされており、児童・生徒が安全に安心して学校生活を送れる状況であると認められる。また、学校職員の一員として学校教育環境の整備、施設の安全確保に果たしている用務員の役割は大きいと認められる。

・校内の整理整頓について

概ね学校生活を送るうえでの基本である整理整頓が良くなされており、児童・生徒が気持ち良く授業を受けられる状況であると認められる。

・特色ある教育活動について

各学校とも地域と連携し、ふるさと学習など昔話や郷土芸能等の伝承活動に取り組んでいるほか、地域と学校が一体となった活動で全国表彰を受賞したPTAもあったことから地域に根ざした特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいると認められる。

市内小中学校に対する物品の管理及び出納の実地監査での意見等は、次のとおりである。

学 校 名	監 査 意 見 等
遠野小学校	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 物品購入に関わる事務処理は、適正に執行されていた。避難訓練等は抜き打ち訓練も含め年4回実施されており、避難経路も明確であった。しかしながら学校施設開放に関する規則に規定されている管理人が定められていないため、土日の施設開放の解錠、施錠のため副校長が出勤している実態があり、担当課である生涯学習スポーツ課において改善が必要である。</p>
附馬牛小学校	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 旧附馬牛中学校校舎を小学校用に改修工事し、附馬牛小学校校舎として3学期から使用していたが、物品購入事務が年末に行われていたことから、予算の配当を受けた後速やかに購入備品を選定するなどタイミングを逸することなく調達し、快適な学習環境を整備していただきたい。</p>
土淵小学校	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 物品購入に係る事務処理は、適正に執行されていた。地区センター、児童館との合同避難訓練の実施等避難訓練の内容が充実していると認められる。作成過程を最も重視したという「子ども学びフェスト」「おとな学びフェスト」の存在に見られるような、地域に根ざした学校運営は評価できる。</p>
青笹小学校	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 物品購入及び管理に係る事務は教務課の指導もあり正確かつ適正に執行されていた。月1回の学校施設安全点検、不審者対応マニュアルの整備、施設内の整理整頓等も行き届いており、子どもたちに快適な学校教育環境が維持されていると認められる。</p>
上郷小学校	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 目的を明記した物品購入事務、三陸文化復興プロジェクトをも活用した図書整備、学校一丸となった復興教育への取組み、</p>

	<p>QR検査を活用しての決め細やかな児童の個別指導、学校危機管理マニュアルのPTA会員周知、「め～るN i ポン」を活用しての緊急連絡網の整備、1周400メートルの朝マラソンの取り組み等の学校運営は大いに評価できる。</p>
遠野中学校	<p>[指摘事項] 特になし [意見・要望] 平成26年9月に音楽棟（音楽室と多目的ホール）が完成し、平成26年度に予定していた校舎の改築工事が完了したことで快適な教育環境整備が図られていた。また部活動では各種大会で優秀な成績をあげているほか、PTA活動でも日本PTA全国協議会会長表彰を受賞するなど活発な教育活動が行われていると評価できる。また、物品購入事務においては計画的かつ適正に事務が執行されていると認められる。</p>
遠野東中学校	<p>[指摘事項] 特になし [意見・要望] 採用1年目の事務主事が配置されていたが、教務課、市内他校の先輩事務主事の指導等により物品購入事務は適正に執行されていた。技術室については準備室を含め、整理整頓が課題と思われる。</p>
遠野西中学校	<p>[指摘事項] 特になし [意見・要望] 西中学校開校から2年目であるが、宮守町と小友町の両地区の住民、PTA、生徒の融合やスクールバスの安全運行に積極的に取り組んでいることは評価できる。またその一環として、生徒の安全確保は学校内のみならず地域で考えられるべきものと思われることから、作成を予定しているというチャート式のわかりやすい「危機管理マニュアル」については、保護者並びに地域の方々にも周知を図ることを望む。</p>